

小・中学校アンケート結果

新居浜市内の学校でも、国際結婚などが増えるにつれ、外国人児童・生徒も在籍するようになってきました。学校の国際教育の実情と課題を把握するため、新居浜市内の小・中学校に国際化に関するアンケートを実施しました。

アンケート期間：平成20年9月11日～9月30日
 対象：新居浜市内小学校17校・中学校11校 計28校
 回答数：28校（100%）

1. 貴校では、外国人児童・生徒が在籍していますか
 または、していたことがありますか。
 ※「外国人児童・生徒」とは、日本語支援の必要な児童・生徒に限定して
 います。

- ア. 現在在籍している 5校
 イ. 過去に在籍していた（平成15～19年度に限定） 4校※
※現在在籍している学校と2校重複
 ウ. 現在も過去も在籍していたことはない 21校

2. 上記1で **ア** を選択された学校にお伺いします。
 現在在籍する外国人児童・生徒の国籍と人数をお教えてください。

国 籍	人数（人）
韓 国	1
中 国	1
ペ ル ー	3
エクアドル	1

3. 上記1で **ア** または **イ** を選択された学校にお伺いします。
 ① 外国人児童・生徒に何か支援をされていますか。または、されていま
 したか。

- ア. している（していた） 6校

どのような支援をされていますか。または、されてきましたか。

- ・日本語教師に日本語を教えにきていただいている（いた）。
- ・授業中の個別指導 ・加配教員・養護教諭による学習や生活支援
- ・テストにルビをふる。
- ・学校で設置する「ことばの教室」で日本語の学習を支援している。
- ・教師が電子辞書を用いてコミュニケーション対応をしている。

イ. していない

0校

② 外国人生徒を受入れることに関して何か困っていることはありますか。
または、ありましたか。（1. で ア または イ を選択された学校）

ア. ある（あった）

6校

どんなことで困っていますか。または、困っていましたか。ご記入ください。

- ・言葉がちがうことで、児童・生徒・その保護者との意志の疎通がうまくいかない
- ・日本語がわからないため、連絡や指示が伝わっているか確認できない
- ・日本語がわからないため、授業が理解できない
- ・日本語学習支援は、ボランティア講師の時間的な限度もあり、十分とはいえない

イ. ない

0校

5. 1で ウ を選択された学校にお伺いします。（現在にも過去にも外国人児童生徒がいない学校）

今後外国人児童・生徒を受入れることになった場合、どのような支援をされますか。

- ・日本語学習支援
- ・外国人児童・生徒の国を理解する学習を取り入れる（言語も）
- ・保護者を含め、日本語や、日本文化に早くなれるよう全校体制で支援する
- ・対象児童・生徒の文化や習慣などを全教職員で理解しながら、児童に関わる
- ・集団（なかま）づくりを支援する
- ・低学年のプリントやスキル、ドリルなどを使い、段階をおって書く指導をしていく（小学校）

- ・外国人児童・生徒の母語がわかる地域の人を探してコミュニケーションの支援をお願いする
- ・不安解消のための相談
- ・具体的支援計画を立てる

6. 貴校では、国際化に関して何か取り組みをされていますか。
（国際協力、授業での国際理解教育など）

- ・国際交流団員の体験発表の機会を設け、生徒の国際化意識を高めている（中学校）
- ・外国の高校生が新居浜市を訪れた時のホストファミリーを積極的に募集している
- ・ALT（英語指導員）による英語学習や出身国や、訪れた国の歴史や特徴などを聞き、外国の人の考え方や文化について学んでいる
- ・総合的な学習の時間や学校行事などでの国際理解教育
- ・道徳で外国人の人権について考えている
- ・ユニセフの募金をしている
- ・6年生の社会「世界の中の日本」の単元での国際理解教育
- ・国際理解教育の全体計画を作成し、各教科で取り組む内容を明確にしている（中学校）
- ・市内英語弁論大会への参加
- ・選択授業でのスピーチ活動、スキット活動など（中学生）
- ・外国人が来校した時に、学校集会などで交流している

7. その他、新居浜市の国際化に関してご意見、ご要望などありましたらご記入ください。

- ・日本語が理解できない児童・生徒に対する支援計画を立ててほしい
- ・外国人児童が転入してきた時の通訳をしてほしい
- ・市民の国際化意識を高める取り組みをしてほしい
- ・ALTや英語教師の派遣回数を増やしてほしい
- ・児童・生徒が外国人と触れ合える機会が増えれば、諸外国について理解し易い
- ・学校で異文化交流ができる外国人の人材が登録されれば、是非活用したい
- ・日本の伝統行事やイベントに市内在住の外国人を招待し、参加してもらえば、地域で外国人との交流が図れる